

川崎市青少年科学館所蔵 反町正紀氏収集昆虫標本リスト
—特に 1960 年代に得られた川崎市産の重要標本について—

川島逸郎*・高梨沙織**・堀内慈恵**

A list of insect specimens collected by Mr. Masaki Sorimachi deposited in the
Kawasaki Municipal Science Museum, with special reference to the remarkable specimens
obtained from Kawasaki City in the 1960s

Itsuro Kawashima*, Saori Takanashi** and Yoshie Horiuchi**

はじめに

本稿は、川崎市内在住の反町正紀氏が 1960 年代を中心に収集され、2019 年度に川崎市青少年科学館（通称：かわさき宙（そら）と緑の科学館）へご寄贈頂いた昆虫標本を、一括してリストアップしたものである。その内訳は、主に日本産チョウ類で占められていたが、この他に膜翅（ハチ）目 16 個体および双翅（ハエ）目 3 個体が含まれ、総数 153 点（この内、データ不明のものは 1 点）となっている。ただし、双翅目標本については破損も著しく同定が難しいため、本報からは除外した。

反町正紀氏は、幼少期より現在まで幸区在住で、小中学生の頃、ご自宅の周辺に加えて、多摩区にあった向ヶ丘遊園（2002 年閉園）でも昆虫採集をされていた。幸区のご自宅周辺は、1950 年後半までは田圃があり、カエルの鳴き声もよく聞かれる環境であったそうだが、1960 年代に入ると開発が進み、住宅地に移り変わっていったとのことである。

同定は筆者らによってなされ、川島が最終的な確認を行った。群馬県や福島県、埼玉県といった神奈川県外産のものもあるが、川崎市内で得られた標本も少なからず含まれる。その中には、とりわけ膜翅（ハチ）目を中心に、神奈川県レベルでの絶滅が危惧され、当市内からも地域絶滅した可能性が高い種もあるばかりでなく、1960 年代当時の川崎市の自然環境の一端をも物語る、注目すべき標本が複数種見出された。これらについては、目録の後に一項目を設けた上で、改めての考察を加えた。

凡例

- 1) 種同定については、膜翅（ハチ）目のうち、シリアゲコバチは Habu (1962)、有剣類全般は寺山・須田 (2016)、それ以外の

ハナバチ類は多田内・村尾 (2014) に、鱗翅（チョウ）目は日本昆虫目録編集委員会 (2013) にそれぞれ従った。属および種の配列は、アルファベット順とした。

- 2) 各データは性別、採集地名、採集年月日、採集者、機関略号+標本番号の順に記した。
- 3) 性別は記号（♂♀）で示したが、区別が難しいか、本報での特定を見送った場合には、単に個体数を示す「ex (s)」とした。
- 4) 採集地は、大まかに北（西）から南（東）へと配列した。また市区町村については川崎市内産の標本では市名を略し、[] 内に区名を挙げた上で括った。川崎市以外の標本は、都県名を同様に示した。採集地は現在の地名としたが、オリジナルラベルに記載されている地名を直後の（）内に併記した。
- 5) 同一産地の標本は、採集年月日の古いものから順に配列した。オリジナルラベルに記された産地の記載は、原則として町名（丁目）までとした。
- 6) 採集年月日は西暦 4 桁と月日とを繋ぐ 8 桁の数値で表した（例：2009 年 7 月 21 日 = 20090721）。
- 7) 採集者は、反町氏ご自身以外の場合のみ記載し、同氏採集のものは省略した。
- 8) 採集情報その他が不明、あるいは不十分のものは [データ不明] とし、末尾に記した。

目録 List of Specimens

昆虫綱 Class Insecta

膜翅（ハチ）目 Order Hymenoptera

シリアゲコバチ科 Family Leucospididae

シリアゲコバチ *Leucospis japonica* Walker,
1871

[多摩区] 1♀, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-30003250.

*神奈川県横須賀市長沢 Nagasawa, Yokosuka, Kanagawa (e-mail: itsurok29@gmail.com)

**川崎市青少年科学館 (かわさき宙と緑の科学館) Kawasaki Municipal Science Museum

アナバチ科 Family Sphecidae

キゴシジガバチ *Sceliphron madraspatanum*
(Fabricius, 1781)

[幸区] 1♀, 古川町, 19630605, KMM-IN-30003257.

本種の♀としては、やや小型の個体である。少なくとも1970年代までは人家周辺にはより普通で、市街地でもみられた種であるが、最近、多摩区の生田緑地およびその周辺でもまったく確認されていない。昔は、学校校舎などに取り付けられた泥巣を見かける機会が多かった。

クロアナバチ *Sphex argentatus* Fabricius,
1787

[多摩区] 1♀, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-30003262.

本種の♀としては、やや小型の個体である。多摩区の生田緑地では、現在でもわずかながら残存する (川島ほか, 2018) が、幼虫期の餌資源の減少のためか、個体サイズも異常に小型化しているのは留意すべき点である。大型種でもあることから、その営巣地はやや面積のある土壌面を好むが、現在の市域には、営巣を可能とするそのような空き地は皆無に近いものと考えられる。ただし、2019年の夏季には、これまで未記録であった川崎区が多摩川河川敷で1個体が採集され、川崎市青少年科学館に収蔵されている (川島・堀内, 未発表)。

ツチバチ科 Family Scoliidae

オオハラナガツチバチ *Megacampsomeris grossa* (Fabricius, 1804)

[多摩区] 1♂, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-30003251.

本標本の中胸背板の点刻は一様ではなく、頂上部分に疎らな域がある点は、寺山・須田 (2016) の検索表とはやや異なっている。しかし、その他の形質では、1) 頭盾はすべて黒色、2) 触角の末端節の長さは、その幅の3倍以上ある、3) 中および後脚は黒色で、前脚の脛節に黄色の条線がある程度と、あらかた本種の特徴を示していたことから、上のように同定しておいた。

ツチバチ科としては、一般的に個体数は少ないものの、多摩区の生田緑地では現在も、晩夏から晩秋にかけて稀にみられる。川崎市青少年科学館には、宮前区産の1♀が収蔵されている (川島ほか, 2018)。

スズメバチ科 Family Vespidae

オオフタオビドロバチ *Anterhynchium flavo-marginatum* (Smith, 1852)

[多摩区] 1♀, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-30003264.

本種は現在でもみられるが、多摩区など川崎市域にも、2015年頃を境に、外来種と想定され本種と体格の近似したオデコフタオビドロバチ *A. gibbifrons* Yamane et Murota, 2015 が侵入し始めた (川島, 2016a; 川島, b; 渡辺ほか, 2020) ことから、今後の競合が懸念される。

スズバチ *Oreumenes decoratus* (Smith, 1852)

[多摩区] 1♀, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-30003263.

ある程度まとまった緑地さえあれば、現在でも見かける機会は少なくない。

ナミカバフドロバチ *Pararrhynchium ornatum* (Smith, 1852)

[多摩区] 1♀, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-30003255;
1♀, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-30003256.

現在は、神奈川県全域からもほぼ消滅している種。少なくとも、1960年代までは各地にみられた種らしく、県内の博物館 (例えば、横須賀市自然・人文博物館) でも、当時の標本が残っている。三浦半島でも、筆者の一人川島により、1998年に1♀個体が得られたのが最後 (鈴木・川島, 2001) となっており、地域絶滅した可能性が高い。川崎市域においても、ほぼ全域から消滅している可能性が高いが、本種が好んで営巣する、葎葎き屋根を伴った古民家のある川崎市立日本民家園、その立地に関連して結果的に里地環境が維持されてきた同園内には、現在も残存することが判明している (渡辺ほか, 2020)。

セグロアシナガバチ *Polistes jokahamae*

Radoszkowski, 1887

[多摩区] 1♀, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-30003259.

[幸区] 1♀, 古川町, 19630605, KMM-IN-30003258.

本属としては大型種で、従来は、人の生活圏にもきわめて普通の種であったが、近年、地域によっては極度に個体数を減らしてい

る。例えば、川崎市多摩区の生田緑地においても、本種は地域絶滅が危惧されるまでに衰退していることが判ってきている。

フタモンアシナガバチ *Polistes chinensis*
(Fabricius, 1793)

[多摩区] 1♀, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630813, KMM-IN-30003260.

本種は、次種とともにかつての普通種で、少なくとも 1970 年代までは、川崎市内各地にみられた小型種である。しかし現在は、少なくとも内陸では確認できない種となっており、現存しているのは多摩川河川敷にすぎない状況に陥っている (川島ほか, 2018)。その動態の把握については、調査を継続する必要がある。

コアシナガバチ *Polistes snelleni* de
Saussure, 1862

[多摩区] 1♀, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630813, KMM-IN-30003261.

本種は、前種とともにかつての普通種で、少なくとも 1970 年代までは、川崎市内各地にみられた小型種である。しかし、現在では確認できない種となっており、川崎市域においては地域絶滅が危惧される状態に陥っている可能性が高い。生息の現状把握を念頭に、今後も調査を継続する必要がある。

セイボウ科 Family Chrysididae

クロバネセイボウ *Chrysis angolensis*
Radoszkowski, 1881

[多摩区] 1♀, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-30003249.

キゴシジガバチやルリジガバチに寄生するため、それらの営巣環境が多く存在した里山環境において、本種もまた比例して生息していた可能性が高い。市域全体としては大きく衰退している可能性があるが、古民家が保存され、結果的に里地環境が維持されてきた川崎市立日本民家園内には、比較的多く残存していた (渡辺ほか, 2020)。

ハキリバチ科 Family Megachilidae

サカガミハキリバチ *Megachile remota*
sakagamii Hirashima et Maeta, 1974

[幸区] 1♀, 古川町, 19630605, KMM-IN-30003253.

ハキリバチ属 *Megachile* としては、本種は川崎市域においても、晩夏から秋に掛け

て現在も多くみられる種の一つである (川島ほか, 2018)。晩夏から秋にかけて、各種の花で吸蜜および花粉採取を行い、既存孔に営巣する。

ミツバチ科 Family Apidae

ニホンミツバチ *Apis cerana* Radoszkowski,
1887

[幸区] 1♀, 古川町, 19630605, KMM-IN-30003254.

現在は養蜂が行われなくなった次種と比較すると、むしろ多くみられる種となっており、時に市街地にも生息する。人家や社寺の床下などのほか、街路樹を含めた樹洞にしばしば営巣する。

セイヨウミツバチ *Apis mellifera* Linnaeus,
1758

[幸区] 1♀, 古川町, 19630615, KMM-IN-30003252.

国外外来種。以前は各地にきわめて多かったが、養蜂や飼養も下火になった現在では、前種よりも少なくなった。

鱗翅 (チョウ) 目 Order Lepidoptera

セセリチョウ科 Family Hesperidae

アオバセセリ亜科 Subfamily Coeliadinae

アオバセセリ *Choaspes benjaminii* (Guérin-Méneville, 1843)

[山梨県] 1♂, 丹波山村 (丹波村), 19640817, KMM-IN-27003296.

チャマダラセセリ亜科 Subfamily Pyrginae

ダイミョウセセリ *Daimio tethys* (Ménétrières,
1857)

[東京都] 1♂, 景信山, 19650728, KMM-IN-27003301; 1♀, 景信山, 19650728, KMM-IN-27003302; 1♂, 景信山, 19650728, KMM-IN-27003303.

ミヤマセセリ *Erynnis montana* (Bremer, 1861)

[多摩区] 1♂, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-27003316.

本種の成虫は早春に出現し、落葉広葉樹の明るい林床などに好んで生息する。現在は、都市化に加え、このような微環境の消滅に伴って川崎市域から衰退しているが、1960 年代には多摩区においても生息していた事実を証拠づける、きわめて重要な標本である。同様の事例は、川島ほか (2016) で

も報告されており、そこでは、同時代の高津区および宮前区、中原区産標本データが公表されている。

チョウセンキボシセセリ亜科 Subfamily
Heteropterinae

ギンイチモンジセセリ *Leptalina unicolor*
(Bremer et Grey, 1852)

[埼玉県] 1♂, 北本市 (北足立郡北本),
19650620, KMM-IN-27003297; 1♀, 北本市
(北足立郡北本町), 19650620, KMM-
IN-27003298.

セセリチョウ亜科 Subfamily Hesperinae
イチモンジセセリ *Parnara guttata* (Bremer
et Grey, 1852)

[神奈川県] 1♀, 横浜市港北区大倉山,
19630815, KMM-IN-27003299; 1♀, 横浜
市港北区大倉山, 19630815, KMM-IN-
27003300.

ミヤマチャバネセセリ *Pelopidas jansonis*
(Butler, 1878)

[多摩区] 1♂, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向
ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-27003318.

キマダラセセリ *Potanthus flavus* (Murray,
1875)

[多摩区] 1♂, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向
ヶ丘遊園]), 19630605, KMM-IN-27003317.

アゲハチョウ科 Family Papilionidae
ウスバアゲハ亜科 Subfamily Parnassiinae
ウスバシロチョウ *Parnassius citrinarius*
Motschulsky, 1866

[長野県] 1♂, 軽井沢, 19650606, KMM-IN-
27003373.

アゲハチョウ亜科 Subfamily Papilioninae
ジャコウアゲハ *Atrophaneura alcinous*
(Klug, 1836)

[埼玉県] 1♂ (春型), 比企郡吉見町 (吉見
村), 19640524, KMM-IN-27003384; 1♂ (夏
型), 比企郡吉見町 (吉見村), 19640524,
KMM-IN-27003385; 1♀ (夏型), 比企郡吉
見町 (吉見村), 19640524, KMM-IN-
27003386.

カラスアゲハ *Papilio dehaanii* C. et R.
Felder, 1864

[多摩区] 1♂ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ丘

[旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-
27003387; 1♂ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ
丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-
27003388; 1♂ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ
丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-
27003389; 1♀ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ
丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-
27003390; 1♀ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ
丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-
27003391.

モンキアゲハ *Papilio helenus* Linnaeus, 1758
[静岡県] 1♀ (夏型), 南伊豆町子浦,
19660803, KMM-IN-27003382; 1♂ (夏型),
南伊豆町子浦, 19660803, KMM-IN-
27003383.

キアゲハ *Papilio machaon* Linnaeus, 1758
[山梨県] 1♀ (夏型), 丹波山村 (丹波村),
19650817, KMM-IN-27003396; 1♀ (夏型),
丹波山村 (丹波村), 19650817, KMM-IN-
27003397.

クロアゲハ *Papilio protenor* Cramer, [1775]
[多摩区] 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘
[旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-
27003392; 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ
丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-
27003393; 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ
丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-
27003394; 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ
丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-
27003395.

アゲハ *Papilio xuthus* Linnaeus, 1767
[幸区] 1♂ (夏型), 古川町, 19640405, KMM-
IN-27003398; 1♀ (夏型), 古川町,
19640405, KMM-IN-27003399; 1♂ (春型),
古川町, 19640405, KMM-IN-27003400; 1♂
(春型), 古川町, 19640405, KMM-IN-
27003401.

アオスジアゲハ *Graphium sarpedon*
(Linnaeus, 1758)
[幸区] 1♂ (春型), 古川町, 19640416, KMM-
IN-27003402; 1♂ (春型), 古川町,
19640416, KMM-IN-27003403; 1♂ (春型),
古川町, 19640416, KMM-IN-27003404; 1♂
(春型), 古川町, 19640416, KMM-IN-
27003405.

シロチョウ科 Family Pieridae
トンボシロチョウ亜科 Subfamily
Dismorphiinae
ヒメシロチョウ *Leptidea amurensis*
(Ménétrières, 1858)
[福島県] 1♀ (夏型), 中津川溪谷, 19640819,
KMM-IN-27003342.

モンキチョウ亜科 Subfamily Coliadinae
ツマグロキチョウ *Eurema laeta* (Boisduval,
1836)
[埼玉県] 1♂ (夏型), 比企郡吉見町 (吉見
村), 19640626, KMM-IN-27003341.
各地で激減した種で、近年は、県内でもほ
ぼみられなくなった。

スジボソヤマキチョウ *Gonepteryx aspasia*
Ménétrières, 1858
[埼玉県] 1♂ (夏型), 比企郡吉見町 (吉見
村), 19640626, KMM-IN-27003339; 1♂ (夏
型), 比企郡吉見町 (吉見村), 19640626,
KMM-IN-27003340.

モンキチョウ *Colias erate* (Esper, [1805])
[神奈川県] 1♂ (春型), 横浜市港北区大倉
山, 19630815, KMM-IN-27003336; 1♂ (夏
型), 横浜市港北区大倉山, 19630815,
KMM-IN-27003337; 1♀ (夏型), 横浜市港
北区大倉山, 19630815, KMM-IN-27003338.

モンシロチョウ亜科 Subfamily Pierinae
エゾシロチョウ *Aporia crataegi* (Linnaeus,
1758)
[北海道] 1 ex., 川湯温泉 (川湯), 19650926,
KMM-IN-27003379.

シジミチョウ科 Family Lycaenidae
アシナガシジミ亜科 Subfamily Miletinae
ゴイシジミ *Taraka hamada* (H. Druce,
1875)
[神奈川県] 1 ex., 横浜市港北区大倉山,
19630815, KMM-IN-27003310; 1 ex., 横浜
市港北区大倉山, 19630815, KMM-IN-
27003311; 1 ex., 横浜市港北区大倉山,
19630815, KMM-IN-27003312.
近年、大幅に個体数を減らしている種で、
人の生活圏に身近な種ではなくなっている。
川崎市内での動向にも、引き続き留意する
必要がある。

シジミチョウ亜科 Subfamily Lycaeninae

ミズイロオナガシジミ *Antigius attilia*
(Bremer, 1861)
[埼玉県] 1♀, 比企郡吉見町 (吉見村),
19650628, KMM-IN-27003369.

オオミドリシジミ *Favonius orientalis*
(Murray, 1875)
[群馬県] 1♂, 榛名山, 19650729, KMM-IN-
27003372.

ハヤシミドリシジミ *Favonius ultramarinus*
(Fixsen, 1887)
[群馬県] 1♂, 榛名山, 19650729, KMM-IN-
27003367.

クロミドリシジミ *Favonius yuasai* Shirôzu,
1947
[群馬県] 1♀, 榛名山, 19650729, KMM-IN-
27003371.

ウラナミアカシジミ *Japonica saepestriata*
(Hewitson, [1865])
[埼玉県] 1♀, 北本市 (北足立郡北本),
19640524, KMM-IN-27003309.
[長野県] 1♀, 八ヶ岳 (稲子湯), 19650802,
KMM-IN-27003309.

ミドリシジミ *Neozephyrus japonicus*
(Murray, 1875)
[埼玉県] 1♂, 川里村, 19650705, KMM-IN-
27003368.

コツバメ *Callophrys ferrea* (Butler, 1866)
[埼玉県] 1♂, 武甲山, 19650502, KMM-IN-
27003370.

ベニシジミ *Lycaena phlaeas* (Linnaeus, 1761)
[多摩区] 1♂, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向
ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003306;
1♂, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊
園]), 19630615, KMM-IN-27003307; 1♂,
長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]),
19630616, KMM-IN-27003308.

ルリシジミ *Celastrina argiolus* (Linnaeus,
1758)
[多摩区] 1 ex., 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向
ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003313;
1♂, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊
園]), 19630615, KMM-IN-27003314.

ツバメシジミ *Everes argiades* (Pallas, 1771)

[神奈川県] 1♂, 横浜市港北区大倉山, 19630815, KMM-IN-27003304; 1♀, 横浜市港北区大倉山, 19630815, KMM-IN-27003305.

ウラナミシジミ *Lampides boeticus* (Linnaeus, 1767)

[神奈川県] 1 ex., 横浜市港北区大倉山, 19630815, KMM-IN-27003288; 1 ex., 横浜市港北区大倉山, 19630615, KMM-IN-27003289; 1 ex., 横浜市港北区大倉山, 19630615, KMM-IN-27003290.

クロシジミ *Niphanda fusca* (Bremer et Grey, 1852)

[群馬県] 1♀, 榛名山, 19650729, KMM-IN-27003375; 1♀, 榛名山, 19650729, KMM-IN-27003376.

ミヤマシジミ *Plebejus argyrognomon* (Bergsträsser, 1779)

[山梨県] 1 ex., 河口湖, 19640827, KMM-IN-27003294; 1 ex., 河口湖, 19640827, KMM-IN-27003295.

クロツバメシジミ *Tongeia fischeri* (Eversmann, 1843)

[埼玉県] 1 ex., 比企郡吉見町 (吉見村), 19650711, KMM-IN-27003374.

ヤマトシジミ *Zizeeria maha* (Kollar, [1844])

[多摩区] 1 ex., 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003291; 1 ex., 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003292; 1 ex., 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003293; 1♂, 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003315.

タテハチョウ科 Family Nymphalidae

テングチョウ亜科 Subfamily Libytheinae

テングチョウ *Libythea lepita* Moore, [1858]

[東京都] 1♂ (夏型), 景信山, 19650728, KMM-IN-27003334; 1♂ (夏型), 景信山, 19650728, KMM-IN-27003335.

ドクチョウ亜科 Subfamily Heliconiinae

ミドリヒョウモン *Argynnis paphia* (Linnaeus, 1758)

[福島県] 1♂ (夏型), 三森峠, 19640811,

KMM-IN-27003278.

ウラギンスジヒョウモン *Argyronome laodice* (Pallas, 1771)

[福島県] 1♂ (夏型), 三森峠, 19640811, KMM-IN-27003282.

[埼玉県] 1♂ (夏型), 比企郡吉見町 (吉見村), 19640710, KMM-IN-27003283.

ヒョウモンチョウ *Brenthis daphne* ([Denis et Schiffermüller], 1775)

[群馬県] 1♂ (夏型), 榛名山, 19640729, KMM-IN-27003277.

コヒョウモン *Brenthis ino* (Rottemburg, 1775)

[群馬県] 1♂ (夏型), 榛名山, 19640729, KMM-IN-27003284

[長野県] 1♂, 烏帽子岳, 19640720, KMM-IN-27003380.

イチモンジチョウ亜科 Subfamily

Limnitiidae

イチモンジチョウ *Limnitis camilla* (Linnaeus, 1764)

[多摩区] 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640809, KMM-IN-27003353; 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640809, KMM-IN-27003354.

コムスジ *Neptis sappho* (Pallas, 1771)

[多摩区] 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-27003357; 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-27003358; 1♀ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-27003359; 1♀ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-27003360.

タテハチョウ亜科 Subfamily Nymphalinae

アカマダラ *Araschnia levana* (Linnaeus, 1758)

[データ不明] 1♂ (夏型), 19650726, KMM-IN-27003381.

コヒオドシ *Aglais urticae* (Linnaeus, 1758)

[北海道] 1♂ (夏型), 19650724, KMM-IN-27003286; 1♂ (夏型), 19650724, KMM-IN-

27003287.

サカハチチョウ *Araschnia burejana* Bremer, 1861

[東京都] 1♂ (春型), 景信山, 19650728, KMM-IN-27003355; 1♂ (夏型), 景信山, 19650728, KMM-IN-27003356.

クジャクチョウ *Inachis io* (Linnaeus, 1758)
[福島県] 1♂ (夏型), 中津川溪谷, 19640819, KMM-IN-27003275; 1♀ (夏型), 中津川溪谷, 19640819, KMM-IN-27003276.

ルリタテハ *Kaniska canace* (Linnaeus, 1763)
[多摩区] 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-27003272.

キベリタテハ *Nymphalis antiopa* (Linnaeus, 1758)
[福島県] 1♂ (夏型), 磐梯山, 19630811, KMM-IN-27003279.

ヒオドシチョウ *Nymphalis xanthomelas* ([Denis et Schiffermüller], 1775)
[埼玉県] 1♂ (夏型), 比企郡吉見町 (吉見村), 19640626, KMM-IN-27003280; 1♀ (夏型), 比企郡吉見町 (吉見村), 19640626, KMM-IN-27003281.

シータテハ *Polygonia c-album* (Linnaeus, 1758)
[埼玉県] 1♂ (夏型), 比企郡吉見町 (吉見村), 19640626, KMM-IN-27003274.

キタテハ *Polygonia c-aureum* (Linnaeus, 1758)
[幸区] 1♀ (秋型), 古川町, 19630605, KMM-IN-27003361; 1♀ (秋型), 古川町, 19630605, KMM-IN-27003362; 1♂ (夏型), 古川町, 19630605, KMM-IN-27003363; 1♀ (夏型), 古川町, 19630605, KMM-IN-27003364; 1♀ (夏型), 古川町, 19630605, KMM-IN-27003365; 1♀ (夏型), 古川町, 19630605, KMM-IN-27003366.

アカタテハ *Vanessa indica* (Herbst, 1794)
[幸区] 1♀ (夏型), 塚越, 19640617, KMM-IN-27003273.

コムラサキ亜科 Subfamily Apaturinae

コムラサキ *Apatura metis* Freyer, [1829]
[埼玉県] 1♂, 北本市 (北足立郡北本), 19650628, KMM-IN-27003285.

ゴマダラチョウ *Hestina persimilis* (Westwood, [1850])
[多摩区] 1♀ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003351; 1♀ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧: 向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003352.

現在は、放蝶由来の、中国大陸原産のアカボシゴマダラ名義タイプ亜種 *H. a. assimilis* (Linnaeus, 1758) (特定外来種) が定着、県内でも広範にみられるようになっている。一方、それに反比例するように、同属の在来種である本種が激減したともいわれており、川崎市域においても、とりわけ両種の動態には、今後も注意を払う必要がある。

オオムラサキ *Sasakia charonda* (Hewitson, [1863])
[埼玉県] 1♀ (夏型), 比企郡吉見町 (吉見村), 19640710, KMM-IN-27003348; 1♂ (夏型), 比企郡吉見町 (吉見村), 19640710, KMM-IN-27003349.

ジャノメチョウ亜科 Subfamily Satyrinae
クロヒカゲ *Lethe diana* (Butler, 1866)
[埼玉県] 1♀ (春型), 比企郡吉見町 (吉見村), 19640628, KMM-IN-27003327; 1♀ (春型), 比企郡吉見町 (吉見村), 19640628, KMM-IN-27003328.

ヒカゲチョウ *Lethe sicelis* (Hewitson, [1862])
[神奈川県] 1♂ (夏型), 横浜市港北区大倉山, 19630815, KMM-IN-27003326.

ウラジャノメ *Lopinga achine* (Scopoli, 1763)
[長野県] 1♂, 上田市 (小県郡丸子), 19640621, 小田・近阪靖夫, KMM-IN-27003378.

ジャノメチョウ *Minois dryas* (Scopoli, 1763)
[山梨県] 1♂ (夏型), 河口湖, 19640727, KMM-IN-27003332; 1♂ (夏型), 河口湖, 19640727, KMM-IN-27003333.

コジャノメ *Mycalesis francisca* (Stoll, [1780])
[多摩区] 1♂ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ丘

[旧：向ヶ丘遊園], 19640503, KMM-IN-27003322; 1♂ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19640503, KMM-IN-27003323.

ヒメジャノメ *Mycalesis gotama* Moore, 1858
[多摩区] 1 ex., 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-27003321; 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19630815, KMM-IN-27003324; 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19630815, KMM-IN-27003325.

サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii* (Ménétrières, 1857)
[多摩区] 1 ex., 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003320; 1♂ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003343; 1♂ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003344; 1♀ (春型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003345; 1♂ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003346; 1♀ (夏型), 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19630615, KMM-IN-27003347.

ヒメウラナミジャノメ *Ypthima argus* Butler, 1866
[多摩区] 1 ex., 長尾二丁目 (向ヶ丘 [旧：向ヶ丘遊園]), 19630821, KMM-IN-27003319; 1♀ (夏型), 横浜市港北区大倉山, 19630815, KMM-IN-27003329; 1♀ (夏型), 横浜市港北区大倉山, 19630815, KMM-IN-27003330; 1♂ (夏型), 横浜市港北区大倉山, 19630815, KMM-IN-27003331.

ヒメキマダラヒカゲ *Zophoessa callipteris* (Butler, 1877)
[福島県] 1♂ (春型), 中津川溪谷, 19640619, KMM-IN-27003350.

1960年代に得られた川崎市産の昆虫標本について

本報でリストされた昆虫標本、とりわけ1960年代に川崎市内から得られたものは、現在の視点からみた場合、いくつかの重要な要素を含んでおり、当コレクションをきわめて有意義なものにしている。その特記

すべきものの多くは、ハチ目の有剣類 (カリバチ類) で挙げることができる。

ナミカバドロボチ *P. ornatum* は竹筒などの既存孔に、泥で仕切りを作って営巣する種であるが、県内における記録自体は多くない (長瀬・渡辺, 2018; その他)。ただし、1960年代には各地に稀な種ではなかったらしく、当時の標本は県内の自然系博物館あるいは、個人所蔵のものがいくらか残っている。その繁殖習性から、里山環境などに代表される、人の生活圏に身近に生息していた可能性が高い。実際、50年以上にわたって、古来の民家を屋外に設置、展示してきた経緯から、長年の大きな環境の変化もなく、結果的に里地環境を維持してきた川崎市立日本民家園内には、本種がいまだに残存することが判明している (渡辺ほか, 2020)。しかし、県内の他地区と同様に、川崎市内全域からの地域絶滅が危惧される状況にある可能性が高い。このことから、1963年の多摩区産の標本が現存した意義はきわめて大きい。同じドロバチ科に属するオオフトオビドロバチ *A. flavomarginatum* は現在も生息するが、現状の個体数は多くはない上に、ごく最近になって、国外外来種と想定されるオデコフトオビドロバチ *A. gibbifrons* の侵入が確認された (川島, 2016a; 2016b; 渡辺ほか, 2020) ことから、その他のドロバチ科の種とともに、競合に伴う今後の動向が懸念される。

キゴシジガバチ *S. madraspatanum* は、少なくとも1980年代初頭までは、川崎市内でも普通種であったが、最近ではまったくみられない種となっている。多摩区の生田緑地では、本種と同属で、その繁殖習性も類似する国外外来種のアメリカジガバチ *S. caementarium* (Drury, 1773) は少数ながら現存する (川島ほか, 2017) が、本種は確認されていない。かつては普通種であったが、川崎市青少年科学館にも標本は現存せず (川島ほか, 2017)、今回の、1963年に得られた幸区産の1個体はきわめて貴重な資料となった。

クロアナバチ *S. argentatus* は、直翅 (バッタ) 目キリギリス科を狩り、土壌を深く掘って営巣する大型種である。川崎市内においても、各地に草地や空き地が存在していた年代は、普通種であったと考えられ、実際に1970年代には、高津区や宮前区など中部地区でも、しばしばヤブカラシなどに訪

花していた。しかし、ほぼ完全に市街化した地域での生息は難しくなっていると想定される。現在の生田緑地でもわずかながら生存しているが、1963年の多摩区産の標本は、現存標本が残っていない当時のものとしては貴重である。なお、2019年の夏季には、これまで未記録であった川崎区が多摩川河川敷で1個体が得られた(川島・堀内, 未発表)が、かろうじて河川敷に営巣しているものと想定される。

アシナガバチ属 *Polistes* は、かつては人家の軒先にも多くの営巣がみられ、もっとも人に身近な蜂であった。しかし、県内各地での現況とも同調しているが、川崎市内における近年の激減ぶりは危機的な状況(渡辺ほか, 2020)にあり、今後の注意深いモニタリングが不可欠である。本属の大型種であるセグロアシナガバチ *P. jokahamae* は、従来は、人の生活圏にもきわめて普通の種であったが、例えば、川崎市多摩区の生田緑地においても、地域絶滅が危惧されるまでに衰退していることが判明している。現在は、多摩川河川敷に低密度で現存するような状況に陥っている可能性が高い。かつては、各地にごく普通種であっただけに、逆にそれを証明する標本資料は現存していないのが実情であり、1963年に多摩区および幸区から得られた2標本の意義は、今後、一層増してゆくであろう。フタモンアシナガバチ *P. chinensis* およびコアアシナガバチ *P. snelleni* もまたかつての普通種で、少なくとも1970年代までは、ともに川崎市内各地にみられた小型種である。前種は、多摩区や川崎区など多摩川河川敷には現存しているものの(川島ほか, 2018)、現在は、後の種とともに少なくとも内陸では確認できず、地域絶滅が危惧される状態に陥っている可能性がある。コアアシナガバチについては、2001年に生田緑地で得られた標本が川崎市青少年科学館に保存されてはいる(川島ほか, 2018)ものの、同地においては、2種ともすでに消滅した可能性が高い。このような意味からも、当時は普通であったと想定される、各々1963年に得られた多摩区産の標本が現存していたことの意義は大きい。市内における現状の把握については、今後も綿密な調査を継続する必要がある。

ミヤマセセリ *E. montana* (鱗翅(チョウ)目セセリチョウ科)については、川崎市青

少年科学館に収蔵された「根岸コレクション」中に現存した標本について川島ほか(2017)が報じており、同時代の、高津区および宮前区、中原区産標本データについて公表している。本種の成虫は早春に出現し、落葉広葉樹の、日照の当たる明るい林床を好んで生息することから、これら古い年代の標本は、当時の市内の自然環境の一端を如実に物語っている。現在、このような微環境は都市化に伴って川崎市のほぼ全域から消滅したと考えられるが、1960年代には、市内各地に普遍的にみられたことを意味する。1964年当時、多摩区長尾においても生息していた事実を証拠づける、きわめて重要な標本である。

なお、チョウ類については、今後、人為的な移動や放蝶が生じる可能性があるため、そのような事例が生じた際の見極めとともに、位置付けについては、在来のものとは不用意に混同しないといった慎重さを要する。

引用文献

- Habu, A., 1962. *Fauna Japonica. Chalcididae, Leucospididae and Podagrionidae (Insecta: Hymenoptera)*. x + 232 pp. + 19 pls., Biogeographical Society of Japan, National Science Museum, Uyeno Park, Taito-ku, Tokyo.
- 川島逸郎, 2016a. 神奈川県からのオデコフタオビドロバチの記録. 神奈川虫報, (188): 61–62.
- 川島逸郎, 2016b. 川崎市多摩区からのオデコフタオビドロバチの追加記録. 神奈川虫報, (190): 21–22.
- 川島逸郎・堀内慈恵・高梨沙織, 2017. 川崎市青少年科学館所蔵「根岸蝶類コレクション」中の特筆すべき川崎市産標本. 神奈川虫報, (193): 60–62.
- 川島逸郎・渡辺恭平・堀内慈恵・高梨沙織, 2018. 川崎市青少年科学館所蔵細腰亜目(昆虫綱: 膜翅(ハチ)目)標本目録. 川崎市青少年科学館紀要, (28): 82–118.
- 日本昆虫目録編集委員会(編), 2013. 日本昆虫目録 第7巻 第1号 鱗翅目. xxv+119 pp., 日本昆虫学会(発行)/ 権歌書房(販売), 東京/ 福岡.
- 鈴木 裕・川島逸郎, 2001. 三浦半島産膜翅目(有剣類). 神奈川虫報, (134): 1–28.
- 多田内 修・村尾竜起, 2014. 日本産ハナバチ図鑑. 479 pp., 文一総合出版, 東京.
- 寺山 守・須田博久(編著), 2016. 日本産有

劍ハチ類図鑑, xxxvi + 735 pp. (incl. 103 pls.), 東海大学出版部, 平塚.
渡辺恭平・川島逸郎・関 悦子, 2020. 川崎市

立日本民家園における調査で得られたハチ目昆虫. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (49): (印刷中)